

自主防災組織ってどんな組織

災害発生時の対応 個人・家族では限界



自助

日頃、顔を合わせている地域の
隣近所の人達が互いに協力しあい、
防災活動に組織的に取り組むこと



これが自主防災組織で**共助**です。

災害の基本 自助・共助・公助

防災の基本 自助・共助

自助

自分の身の安全を守る

減災

共助

家族・近所・地域で助け合う

公助

国や地方公共団体等の取組

自助	共助	公助
★家具の転倒防止 ★家屋の耐震化 ★ガラスの飛散防止 ★非常食・備蓄品の準備	★近隣住民・自主防災会による被害状況確認、救出、消火活動 ★避難誘導・要配慮者へ支援 防災・安心地域委員会による、避難所の開設。受入・運営	★生活物資、非常食の備蓄・啓発活動 ★自衛隊、消防、警察等の救助活動など。

★公助に期待する向きが思いのほか強いが

- ・市の災害対策本部は、立ち上がりにタイムラグがある
- ・全域を一度にカバーできない。
- ・消防関係も一度に全域カバーは不可

災害時の初動は「自助・共助」が基本

公助でない

災害初期から、公助を求める人がいる



災害直後は災害関係機関の活動が十分な機能しない

- ・職員自身の被災もある
 - ・職員の人員だけでは市内全域をカバーできない
 - ・災対本部設置後の活動で、タイムラグがある
- 従って、自助、共助で、**自主防災組織が重要**

もし、自主防災組織が無かったら

自主防災組織が無かったら、被害が拡大

- ①助かる人も助からない
 - ・避難が必要な、要配慮者、避難要支援者の置き去り
 - ・家具、家屋の転倒で下敷きになった人の救助が出来ない
- ②消火活動が出来ず、火災の拡大
- ③避難所運営が遅れ、機能が不十分で避難所の混乱が起る

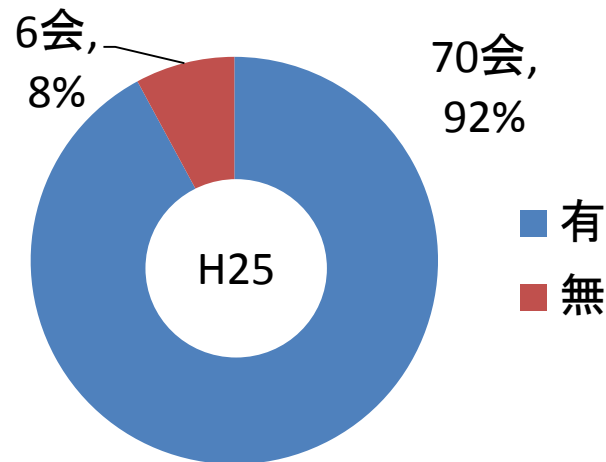
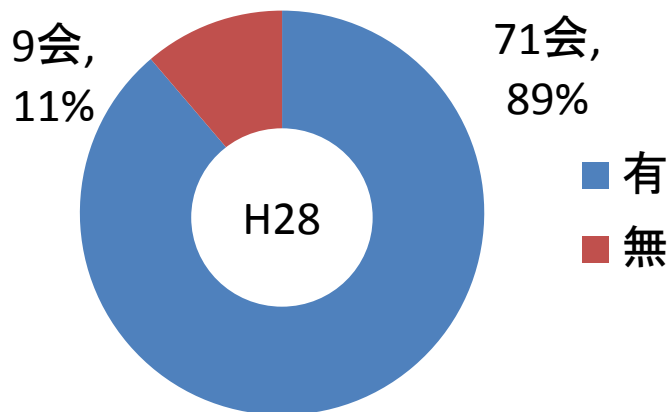


自主防災組織の機能はどうなっている？

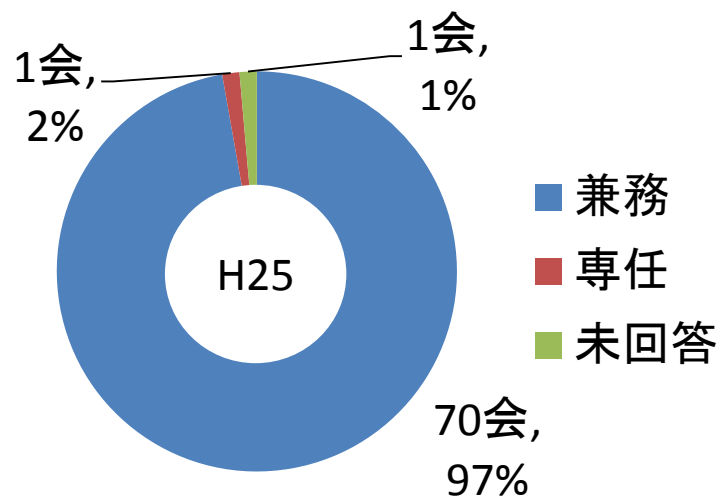
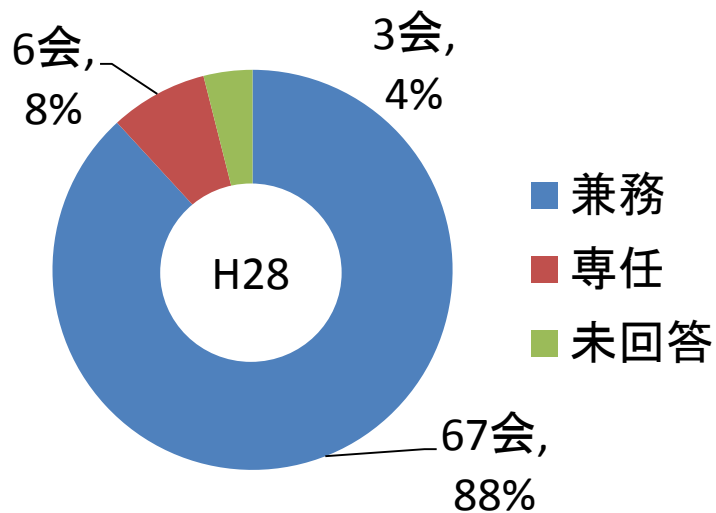
28年度に自主防災組織の実態のアンケート調査結果は？

28年度アンケートから分かったこと

自主防災組織の有無

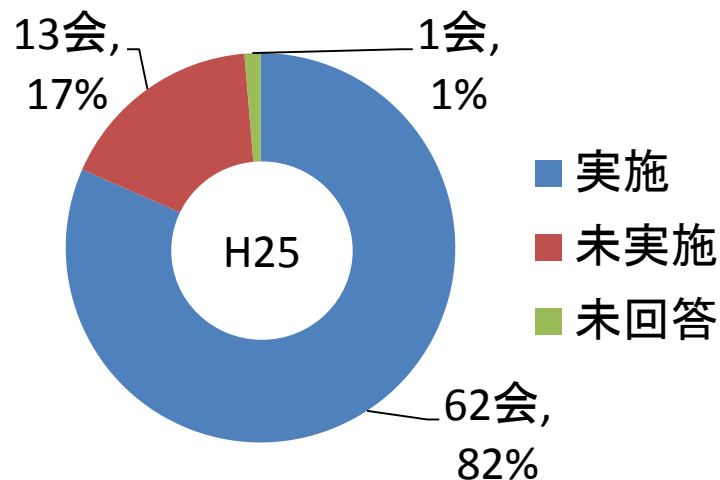
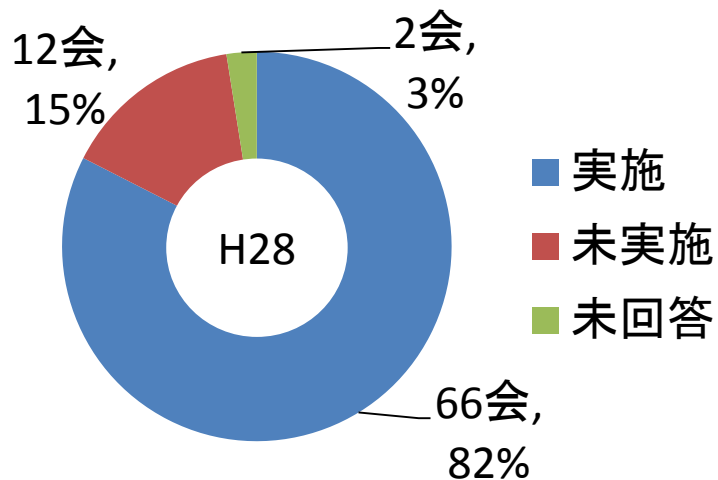


自主防災会「町内会・自治会長」兼務

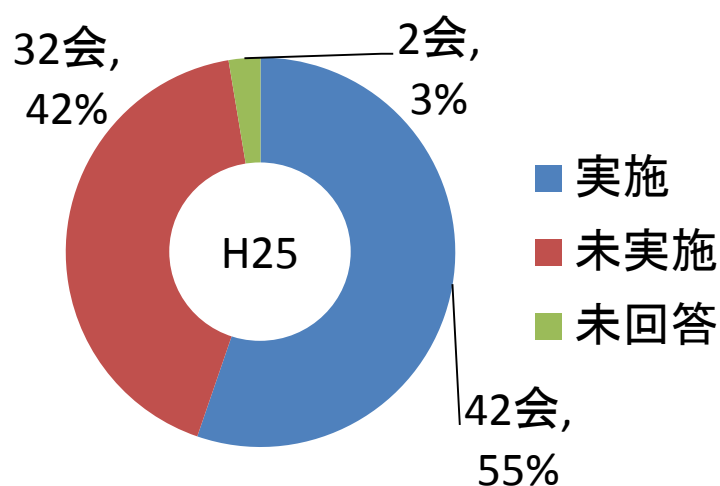
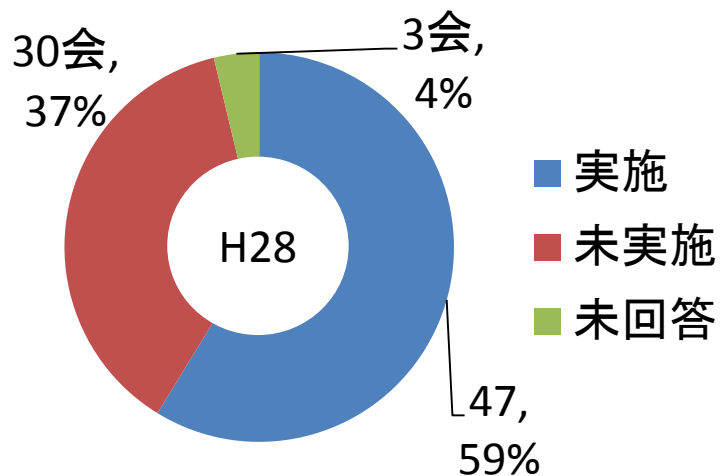


28年度アンケートから分かったこと

避難訓練

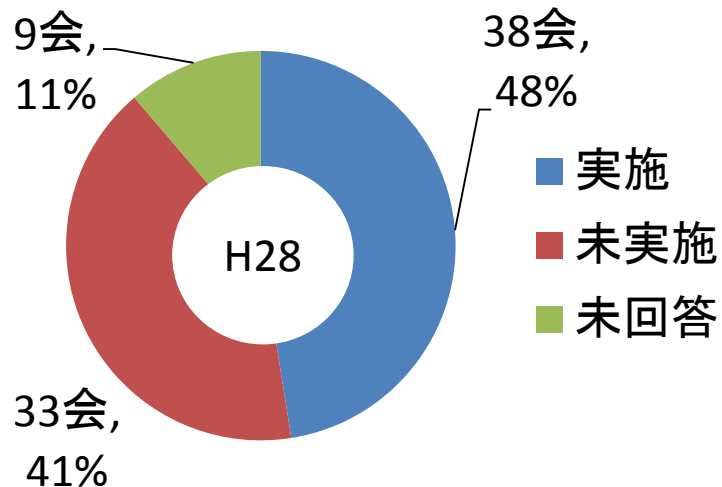


救出・救護訓練

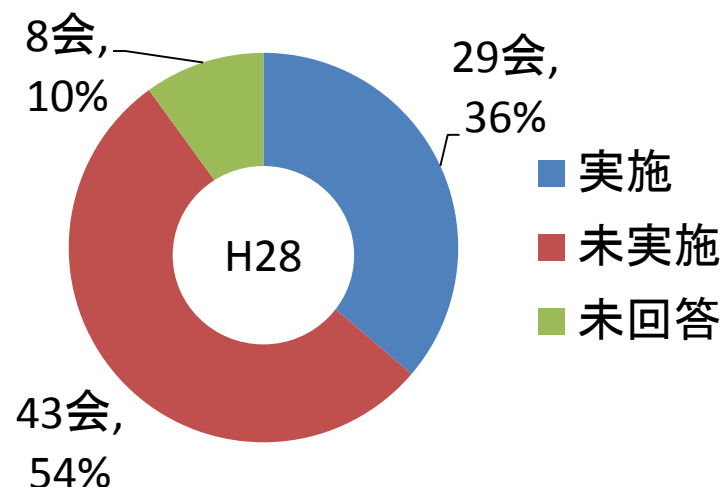


28年度アンケートから分かったこと

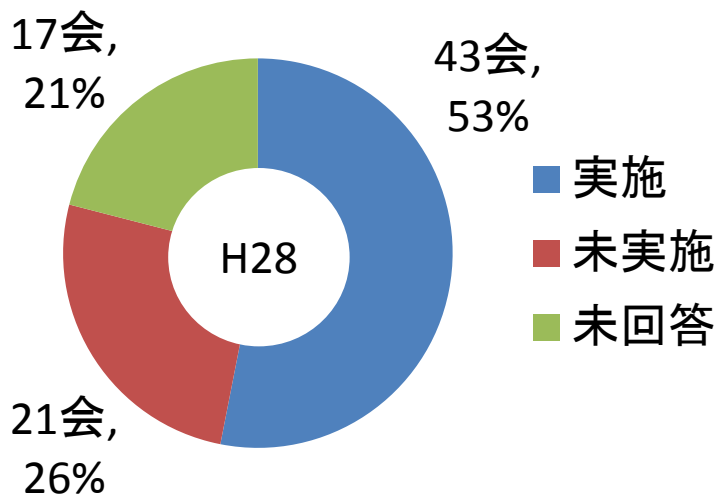
そなえ・啓発活動



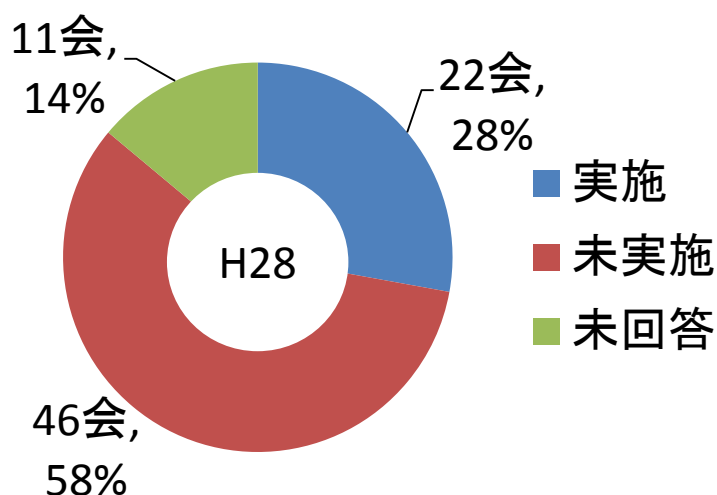
避難ルート安全点検

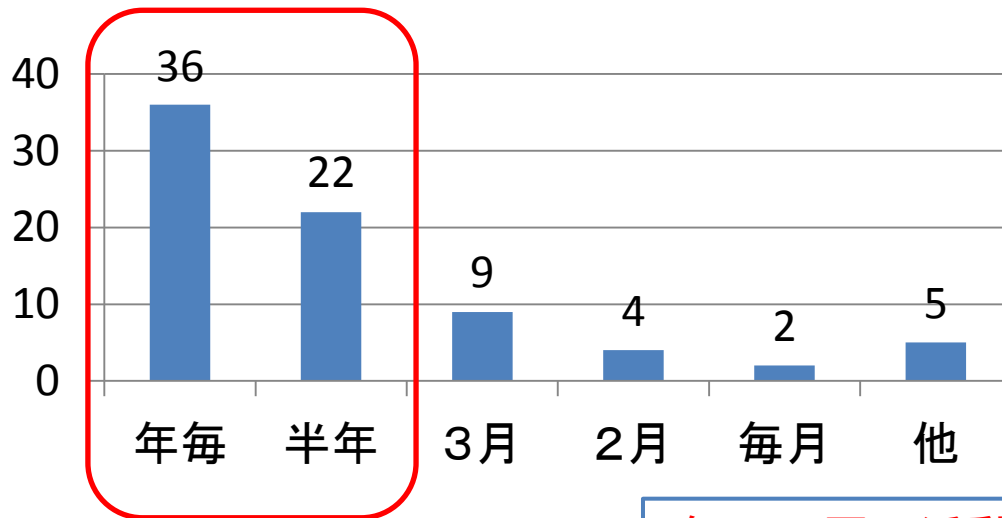


要配慮者対策



家具転倒防止対策





年1、2回の活動で74%占めている

★現在の自主防災組織は、災害時機能するか疑問

- ・避難・防災訓練が中心 そなえ・啓発活動が甘い
- ・現在の自主防災組織が災害時、立ち上がる？

★公助に期待する向きが思いのほか強いが

- ・市の防災本部は、立ち上がりにタイムラグがある
- ・全域を一度にカバーできない。
- ・消防関係も一度に全域カバーは不可



公助は直ぐに来ない。その間、災害現場どうする

自主防災組織が無いと

被害が増えパニック状態になる



頼れる自主防災組織を目指そう

自主防災組織の目指すもの

活動目標：自分たちの地域は自分たちで守る

活動指針：平常時の活動が災害時の活動に結びつく活動

自主防災組織の役割・活動

災害時

- ① 救出・救助
- ② 初期消火
- ③ 情報の収集・伝達
- ③ 避難誘導・支援
- ④ 避難所の管理・運営
- ⑤ 在宅避難者への配慮

平常時

- ① 災害時要配慮者への配慮の取組
- ② 地域内の安全点検（防災マップ作り）
- ③ 防災資機材の整備・点検
- ④ 防災知識の普及・啓発
- ⑤ 防災・避難訓練
- ⑥ 危険個所の確認と対象住民数・要配慮者（避難行動要支援者）の取り扱い

自主防災組織

会 長

給食給水班	避難誘導班	救出救護班	消火班	情報班	総括班	班
<ul style="list-style-type: none"> ① 炊き出し訓練の実施 ② 給水訓練の実施 ③ 資機材の準備と管理 ④ 食料、燃料の調達方法 	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難路、避難所の周知と現状の把握 ② 災害時要配慮者、避難行動要支援者の選定と行動計画 ③ 避難訓練の実施 ④ 避難誘導用機材の準備と管理 	<ul style="list-style-type: none"> ① 応急手当の知識の普及 ② 応急手当の訓練の実施 ③ 負傷者等の救出と応急手当用機材の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ① 消火使用器具等の点検 ② 消火機材の準備と管理 ③ 石油類管理状況の点検 ④ 初期消火訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災知識の普及 ② 情報の収集、伝達用機材の準備と管理 ③ 情報収集、伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 組織の総括及び障害 ② 防災計画、訓練の確立 ③ 組織の運営指導 	<p>平常時の活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> ① 炊き出し等の給食活道 ② 給水活動 ③ 在宅避難者への支援 ④ 食料、燃料の調達 	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全な避難所の指示 ② 災害時要配慮者の避難手助けと避難行動要支援者への支援 ③ 避難誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ① 負傷者等の救出活動と応急手当等の救護活動 	<ul style="list-style-type: none"> ① 初期消火活動 ② 地震時における出火防止の呼びかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 情報の収集、伝達 ② 避難勧告等の伝達 ③ 防災関係機関に対する災害状況の通報 	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災関連機関との連絡調整 ② 各班の調整指導 	<p>災害時の活動</p>

防災リーダーの役割

防災リーダーは、自主防災組織の担い手

(自主防災組織活動マニュアル「4防災リーダーの役割参照」)

防災リーダーの活動

- ★自ら防災の基本知識、技術の習得
- ★住民への指導を行い、住民の防災意識の向上
 - ・地域の安全点検
 - ・地域の危険個所の点検、住民の把握、対応
 - ・要配慮者の把握と対応
 - ・防災知識普及、啓発活動
 - ・資器材の整備・点検
 - ・防災訓練

**基本は、班活動を中心に自主防会長の下、
自主防災組織の推進を図る**

班活動が自主防災組織の活動を定める

I 班活動の進め方

- ① 自主防災組織の班活動項目を班内で明確にする
- ② 班会議は定期的に行われ、自主性を重んじる

II 班会議の進め方

活動項目に対し

- ① 自分達で出来ること、出来ないことの明確化
- ② 分かること、分からない事の明確化
- ③ 活動に必要な資機材、物品の有無の明確化
- ④ 自分達の活動内容の明確化
- ⑤ 以上の内容を定期的に本部会議で検討確立する
 - ☞ 班活動の確立
 - ☞ マニュアル化

まとめ

めざせ住民と協働の自主防災組織を！

災害時に結びつく平常時の活動が減災に結びつく

災害発生時は初動が大切

災害発生と同時に動く自主防災会を

防災リーダーを生かし、住民と協働の活動の推進

追記：避難所の管理・運営は地区地域委員会を中心に共助で